

令和八年度学力検査問題

国語 ② (教育学部・医学部看護学科)前期日程

(問題紙 一〇十二ページ 別紙解答用紙枚数 二枚)

解答時間 一〇〇分

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、本冊子のページ数は右に示したとおりである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがある場合は申し出ること。
- 三、解答はすべて別紙解答用紙のそれぞれの解答欄に記入すること。
- 四、解答用紙の指定された欄(四箇所)に、忘れずに本学の受験番号を記入すること。
- 五、試験場内で配付された問題冊子は試験終了後持ち帰ること。

令和8年度 三重大学個別学力検査

# 問題訂正

[ 教育学部・医学部看護学科 前期日程 国語② ]

(正)	(誤)	三
⋮ 恒 <small>つね</small>	⋮ 恒 <small>つね</small>	11 ページ 本文 1行目
於 <small>い</small>	於 <small>い</small>	
⋮	⋮	

(正)	(誤)	一
⋮ すると何が起こるか。	⋮ すると何が起こるか。	3 ページ 本文 10 行目

一

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。）

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

(大岡玲『日本語はひとりでは生きていけない』より。出題に際し原文の一部を省略し、表記等を改めた。)

〔注〕  
\* 逍遙 || 坪内逍遙(一八五九—一九三五)。逍遙とも書く。

問一   のカタカナを漢字に改め、楷書で丁寧に書きなさい。

問二   に当てはまる最も適切な語句を、次の選択肢の中からそれぞれ一つ選んで、その記号を記しなさい。

A	ア 金鱗	イ 銀鱗	ウ 逆鱗	エ 恬鱗	オ 片鱗
B	ア 阿鼻叫喚	イ 驚天動地	ウ 義理人情	エ 質実剛健	オ 針小棒大
C	ア 強要	イ 示唆	ウ 否定	エ 矛盾	オ 予言

問三 傍線部①に「人間といふ動物には、外に現るる外部の行為と、内に蔵れたる思想と、二条の現象あるべき筈なり」とあるが、逍遙が当時の小説についてこのように指摘したのはなぜか。八〇字以内で述べなさい。

問四 傍線部②に「生活上のさまざまな「困り」はあっても「悩み」はあまりなかった」とあるが、この文章をふまえて「困り」と「悩み」の違いを六〇字以内で述べなさい。

問五 右の文章の後、筆者は逍遙の文体に関して述べた上で次のように記している。これを読んで後の問いに答えなさい。

著作権の關係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。



二

次の文章は、松尾芭蕉が弟子の越人と奴僕（下男）、道心の坊（途中で出会った六十歳ほどの僧）と一緒に、木曾路を通って更科の里（現在の長野県北部）へ旅をしたときの様子を記したものである。この文章を読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。なお、出題に際し、表記等を変えたところがある。）

著作権の関係上、公開しません。

（松尾芭蕉『更科紀行』より）

〔注〕

\* 棧・寢覚・猿がば・たち峠⇨木曾路の途中にある難所。

\* あはの鳴戸は波風もなかりけり⇨「あはの鳴戸」は渦潮で有名な鳴門海峡のことで、兼好法師作と伝えられる「世の中を渡りくらべて今ぞ知る阿波あわの鳴戸は波風もなし」をふまえている。

\* 草の枕⇨旅先での仮の宿。

\* 矢立⇨帯に差し込むなどして携行した筆記具。

\* 引板の音⇨鳥や鹿を追い払うための道具の音。

\* あるじ⇨ごちそうすること。

\* 碧碗玉卮⇨宝石などでできたおわんや杯。

問一 二重波線部「なり」と文法的に同じものを、波線部①～⑥の中からすべて選び、記号で答えなさい。

問二 二重傍線部 a「見あげ」・ b「はなしつづくる」・ c「興に入り」について、それぞれの動作主体(主語)を、記号で答えなさい。なお、同じ記号を二度用いてもよい。

ア 越人      イ 道心の坊      ウ 奴僕      エ 芭蕉      オ 仏      カ 宿の者

問三 傍線部 A「仏の御心に衆生のうき世を見給ふも、かかる事にや」を、「かかる事」の指す内容が具体的にわかるように現代語訳しなさい。

問四 傍線部 B「何を言ひ出づる事もせず」とあるが、芭蕉が句を作ることができなかったのはなぜか。五〇字以内で説明しなさい。

問五

□に入る語句を本文中から抜き出しなさい。

三

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。また、設問の都合で、本文の一部を省略し、返り点・送り仮名を省いたところがある。）

著作権の関係上、公開しません。

（呉兢『貞観政要』より）

〔注〕 \*太宗Ⅱ唐の第二代皇帝李世民。

\*養飼Ⅱ飼う

\*齊景公Ⅱ中国春秋時代の齊の君主。

\*晏子Ⅱ齊の政治家。

問一 二重傍線部 a・b の読みを、送り仮名も含めて答えなさい。(現代仮名遣いでよい。)

問二 傍線部①を、すべて平仮名で書き下しなさい。

問三 傍線部②を、「之」の内容を補いつつ、現代語訳しなさい。

問四 後に太宗は、臣下に皇后は極めて有益な人物であると述べている。その理由を、二五字以内で説明しなさい。